

大津のことがもっと好きになる情報誌

広報 おおづ



今月のみどころ

平成29年大津町成人式

未来をつくる新成人たちの晴れ姿をご覧ください

町村合併60周年記念表彰式開催

町村合併60周年を迎えご尽力いただいた皆さんをご紹介します

2

FEBRUARY 2017
町村合併 60 周年記念

Public relations
OZU TOWN

広報おおづ 2017 2

発行・編集 ■大津町・総務課
〒869-1292 熊本市東区大津町大字大津 1233 番地
TEL.096 (293) 3111 <http://www.town.ozu.kumamoto.jp/>
※広報おおづは環境に配慮して再生紙と植物油インクを使っています。

UD
FONT
易やしく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



発症した8歳から付き合いのあるインスリン注射
未だに誤解の多い1型糖尿病の理解を深めるためエアロビックと同じく自分自身が啓発を行う

clozu-up
Ozu-jin
クローズアップ 大津人

「応援してくだ
くれた皆さんに

おおむら えいいち
大村 詠一さん (引水)

少しでも
恩返しが
したい」

元エアロビック競技日本代表。そして、1型糖尿病患者・家族の支援団体の専務理事。今回はそんな2つの顔を持つ大村さんをクローズアップする。

服の上からでもわかる、鍛え上げられたしなやかな筋肉に初めて大村さんに会う人は「1型糖尿病、患者」とわかる人はいないだろう。幼いころにエアロビックを始め、8歳で1型糖尿病を発症。病気はハンデではないことを証明したかった少年時代。それから努力を重ね、エアロビック競技で世界の頂点に何度も立つまでになった。そして、昨年。これからのエアロビック振興のため引退を決意した。

熊本地震では、東日本大震災の知識を生かして独自の支援活動をしていた。自身が糖尿病を知っているからこそできる糖尿病患者の皆さんへのケアは希望の光に見えたことだろう。1年近く経過しようとする今も「自分ができることを」と運動の機会の少ない仮設住宅に住む人々を回る運動教室を計画中だ。

周囲に惜しまれる現役引退について「前から決めていたのですが、30歳を迎え、新しいステージに立ちたかった」という大村さん。「お世話になった皆さんへ少しでも恩返しをしたい。2020年の東京オリンピックに向けてもっとエアロビックを盛り上げていきたい。たくさんの方々の後輩たちが日の目を見る機会を作りたい」と新しい夢を語る。

「競技者からパフォーマンスになったことで夢にどれだけ近づけるか」エアロビックを知ってもらったための努力は惜しまない。もちろんもうひとつの、個性、1型糖尿病の根治への活動も続けるつもりだ。より高い山の頂に立った彼の視線はこれからも未来を見つめている。

からいもくん便り

大津町総合情報メール
携帯電話やパソコンのメール機能を活用して、生活に役立つさまざまな情報をお知らせするシステムです。



登録方法: ozutown@gw.ansin-anzen.jp に空メールを送信してください(スマートフォンの場合は件名に任意の1文字「あ」などを入力して送信)。

つづきの声

▼大村さんへのインタビューはたくさんさんの感謝の言葉が出てきました▼好青年という言葉の持つ意味通りの人という印象▼そして糖尿病に関する最新医療機器の話などは興味深く勉強になりました▼私の母が大村さんの大ファンでお話したと話すとき驚いていました▼エアロビックも糖尿病も個性と言える大村さんは本当に強い人だと思いつつ同時にこれまでの見えない部分の努力をうかがい知れました▼寒い日が続きますが春は近いはず……です (WIDEO)